

2018 J2 順位表 第 38 節【暫定】

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

(*は消化試合が 1 少ない)

1	松本	70p	+19	52	33	HO	A△
2	大分	69p	+25	71	46	A●	H●
* 3	町田	68p	+17	56	39	H●	A●
4	東京 V	66p	+15	52	37	A△	H△
5	福岡	65p	+16	54	38	A●	
6	大宮	64p	+16	60	44	AO	H●
7	横浜 FC	64p	+14	56	42	H●	A●
8	徳島	54p	+9	48	39	H△	A●
9	甲府	53p	+11	54	43	H●	AO
10	山形	52p	-1	46	47	A●	
11	岡山	52p	-1	38	39	A△	HO
12	山口	52p	-4	59	63	H△	A●
13	金沢	50p	+3	45	42	H●	A●
14	水戸	50p	+1	43	42	HO	
15	新潟	49p	-7	44	51	HO	A●
16	千葉	48p	-3	67	70	AO	
17	栃木	46p	-9	36	45	H△	A●
18	愛媛	44p	-14	31	45	AO	H●
19	京都	37p	-17	36	53	A●	H●
20	岐阜	37p	-19	41	60	---	---
* 21	讃岐	30p	-39	26	65	AO	H●
22	熊本	27p	-32	44	76	AO	H●

today's guest : **ジェフ千葉**

2017 J2 20勝 8分14敗 勝ち点68: 6位

直近の対決と結果

2018/03/11
J2 - 3 節@フクアリ
千葉 2-3 岐阜
田中パウロ淳一, 永島悠史, 風間宏矢 scored.

ここ 3 試合の公式戦の結果

FC岐阜	ジェフ千葉
2018/10/21 J2 - 38節@サンアル 松本 0-0 岐阜	2018/10/21 J2 - 38節@フクアリ 千葉 2-4 大分
2018/10/13 J2 - 37節@長良川 岐阜 2-1 岡山	2018/10/14 J2 - 37節@フクアリ 千葉 2-1 山形
2018/10/07 J2 - 36節@下関 山口 4-1 岐阜	2018/10/07 J2 - 36節@えがお S 熊本 1-3 千葉

●いつまでも続くかと思われた暗いトンネルを、ようやく抜けた…。10/13 (土) 第 37 節・ホーム岡山戦は、それまでのサッカーを変え、縦へのロングボールを多用する FC 岐阜。しかし、慣れない戦術で試合序盤から岡山にペースを握られてしまう。前半は無失点で折り返すが、後半早々に守備の乱れから失点を許す。しかし、#24 難波宏明と #18 石川大地が立て続けに投入されると、岐阜の攻撃が活性化する。後半 33 分に #7 田中パウロ淳一が同点ゴールを決めると、さらに岐阜の攻撃が勢いを増し、後半 42 分に #18 石川大地が逆転ゴールを決める。その後は岡山の反撃を全員で防いで、2-1 で試合終了。14 試合ぶりの勝利。アウェイ甲府戦以来 3 か月ぶり、ホームでは水戸戦以来 4 か月ぶりに掴み取った勝利に、試合後のスタジアムには岐阜サポーターの歓喜が溢れかえった。続く 10/21 (日) 第 38 節・アウェイ松本戦では、試合序盤から首位 (暫定) の松本の激しい攻撃を浴びながら、粘り強くボールを跳ね返し、身体を張ってゴールマウスを死守する岐阜の選手たち。後半には何度か決定機を迎えるものの決めきれず、0-0 のドロウで試合は終了。アウェイで上位チーム相手に貴重な勝ち点 1 を持ち帰ることができた。この 2 試合で、貴重な勝ち点 4 を積み上げることができた FC 岐阜。順位は 20 位と変わらないが、19 位・京都には得失点差だけに追いついた。熊本・讃岐は第 37 節の直接対決で讃岐が勝利したため順位が入れ替わったが、その 21 位・讃岐とは勝ち点差 7、22 位・熊本とは勝ち点差 10。勝ち点差を広げることができた。残りは 4 試合。しかし、僕はまだ何も手にしていない。何度も繰り返すが、僕ら自身が 2016 年シーズン、最後まで 5 連敗して最下位に沈んだが残りの 4 試合を 3 勝 1 敗、最終節に勝利して J2 残留を決めたのだという歴史を、決して忘れてはいけない。だから残り 4 試合も、選手たちをはじめクラブを取り巻くすべての人々が一丸となって、毎試合を最後まで必死に戦い抜いて勝利を、そして勝ち点を掴み取る必要がある。

さて、今節の対戦相手はジェフユナイテッド千葉だ。昨年は 6 位で J1 昇格 PO に進出したが名古屋に敗れた "オリジナル 10" は、9 シーズン目の J2 をエスナイデル監督 2 年目体制で臨んだが、今シーズンは代名詞の "ハイプレス・ハイライン" がなかなか機能せず、現在 16 位。総得点 67 とリーグ 2 位である一方、総失点 70 はリーグ 21 位という成績で、直近 5 試合も 2 勝 3 敗と調子が上がらずに苦しんでいる。とはいえ、その戦績は岐阜よりも優れているし、順位も上位だ。厳しい対戦相手であることに変わりはない。千葉とのリーグ戦での通算対戦成績は、岐阜の 5 勝 3 分 9 敗・20 得点 29 失点。ホーム戦でも 2 勝 2 分 4 敗・8 得点 13 失点と負け越している。昨年のホーム戦・6/25 (日) 第 20 節は激しい点の奪い合いをして、4-6 で敗れた。しかし今シーズンのアウェイ戦・3/11 (日) 第 3 節は、岐阜が激しい点の奪い合いを制して 3-2 で勝利した。今節も、千葉に勝利してホーム連勝を決めたいところだ。

千葉の最も注意すべき選手は、現在 18 ゴール、リーグ 3 位の得点を挙げている #11 船山貴之だろう。195cm の長身 F W #50 指宿洋史または 186cm の #9 ラリベイの 1 トップ、シャドーの #11 船山という攻撃には迫力があり、#50 指宿は 8 得点、#9 ラリベイは 11 得点。この 3 人で千葉の総得点の半分以上を叩き出している。彼らのフィジカルに負けないことが、岐阜の守備陣には求められているだろう。また、#10 町田也真人は 2 試合連続ゴールと調子を上げており、そのサイドからの素早い攻撃にも注意が必要だ。残り 4 試合。これからも最後まで、勝利を目指してひたむきに全力で戦うことを要求される厳しい試合が続くだろう。そんな選手たちを信じて、僕らもまた、その背中を後押しする拍手や声援を最後まで送りつけよう。なにより、僕らは FC 岐阜の勝利に飢えているはずだ。ホーム連勝を、そして歓喜の万歳四唱を再び、選手たちと分かち合おう。(ささたく)

次回 Home Game

第 40 節 vs. モンテディオ山形

11/4 (日) 14:00

@ 岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱 UFJ 銀行隣り)

年中無休 午後 3 時から営業

TEL.058-263-5201

Living in Woods

本庄工業株式会社

http://www.honjo-woodream.com/

湯麺 戸塚

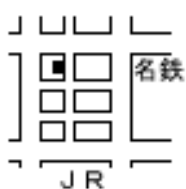
店主: 戸塚 哲也

瑞穂市穂積 1 5 9 6 - 4

11:30~14:00/18:00~21:00 (L.O.20:50)

お休み情報 twitter: @Tanmen_Tozuka

☆☆☆各務原店もよろしく!! ☆☆☆



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』は JR 岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩 3 分。休: 月曜日

投稿募集 !!

gidaidohri@gmail.com

【第37節】岐阜 2-1 岡山

●ついに、ついにこの瞬間が……（歓喜）。14 試合未勝利、未だシーズン後半戦で勝ち点4しか積み上げられず、いよいよ“崖っぷち”に立たされた岐阜。ただ、前節のアウェイ山口戦は1-4で完敗したのだけれど、僕は後半のサッカーが気になっていた。少なくとも僕の目には“大木サッカー”を封印したと思える戦術が、何を意味しているのか、と。そして、この試合は#5青木が左SBで今季初スタメン、試合開始直後に縦ヘロングボール。そこで「これはチームも完全に“残留モード”だ」と僕は感じた。おそらく、ショートパスを繋ぐサッカーが見たい人々には“普段着のJ2の”サッカーは面白くないのだろうと思う。だけど、僕は安堵していた。本田圭祐なりに言う『相手がグーを出すのを知ってるのにチョキを出すのではなく、グーで殴り合うサッカー』（苦笑）。ひたむきな泥くさいサッカー。これなら、“勝ち負け”にできるかも……。とはいえ、慣れてないサッカー（苦笑）に苦労する岐阜に対し、慣れている岡山が試合の流れを掴むのは仕方のないことで。だけど、ひょっとしたら岡山は、ウチがこんなサッカーをやってくるって想定していなかったのじゃないかな？それがプレーの精度に影響していたのかなとも思う。前半は完全に岡山ペース。後半に1点を失って「まだ2試合では2年近いサッカーを変えるのは難しいか…」と思ったのだけれど、#24難波と#18石川の投入で流れが徐々に岐阜に傾く。そして後半30分、#6三島がゴール前に送ったボールに、#24難波がニアで潰れてファーで#7パウロが押し込んで同点ゴール！いやー、これぞ#24難波の真骨頂、お見事な“潰れ芸”でした。これで自信を取り戻したかのように動きがよくなった岐阜の選手たちと、一気にボルテージが上昇するスタジアム。久しぶりの“長良川劇場”。そんな雰囲気の後半43分、何度も岡山ゴール前、つまり岐阜サポの目の前で波状攻撃を繰り返し、ジャブのように岐阜サポの気持ちを上げ下げしておいて、最後に#18石川……キャンプ初日に大怪我をして苦労して復帰したルーキーが、J初ゴールを決めて逆転！なんだこれ、高橋陽一先生が描いたマンガか！（苦笑）。そうそう、ここでも#31宮本の見事な“潰れ芸”が光りました。その後は、地鳴りのような“FC岐阜”コールの中、泥くさく岡山の攻撃を跳ね返す岐阜の選手たち。ひとつ苦言を呈しておきたいのは、最後のワンプレー。岡山がボールを持ち上がったのに誰もチェックに行かずズルズル下がってミドルレンジでフリーにした時は、ゴールの右上隅にシュートコースが空いて見えて、死ぬかと思いました（苦笑）。あそこはイエロー覚悟で潰しに行くべき場面のはず。反省を求めます。とはいえ、です。試合終了の笛を聞いて、吼えました。泣きました。サポ仲間とハグしまくりました（笑）。土曜のデーゲーム、楽しいお酒がいっぱい飲みました。でも、この勝利で終わりじゃない。気を引き締めて、今後も勝利を！（ささたく）

●3カ月未勝利、長良川では4カ月勝ちなし。そういう前置きで、こんな試合展開。本来なら身も心も歓喜に身を委ねたいところ。なのに、終了の笛が吹かれた時点では超ご立腹でしたよ、ワタクシ。腹の底から「フ・ザ・ケ・ン・ナ！」でしたワ。何ですか？アレ。1点リードの最終局面。ボールを止めれば終わり、ですよ。わかっているよね？だから、その前は敵陣コーナー付近でキープしてたんだよね？なのに、ドリブルして来る相手に全員がズルズル後退、ですか？拳句にシュートをフリーで打たせるなど。ありえないよ……？ゴール裏からはシュート・コースがモロ見え。危うく、心臓止まるトコだったワ。あそこは、例えカードもらっても止めなきゃ、では？使い古されて、今はどこかへ行ってしまった『マリーシア』とかいう言葉を、選手達に叩き込んでやりたかった。あの場面で決められてたら、どうなってたか……。想像するだけに恐ろしい。お通夜？怒号の嵐？奈落の底へ真つ逆様、というのは、あながち的外れではないハズ。ラフなプレーはもちろん、ファールを推奨するつもりはないが、当たってでも

止めてよ。ソレを、どう判断するかは主審次第だ。だいたい、その前の前ぐらいのシーン。ルーズボールを追いかけていたナンちゃんが、途中で追うのを止めた場面。アレはなぜ？そのまま追ってれば、向こうのGKボール蹴り出すしかなかったんじゃないのか？そしたら、ソコで試合は終わっていたかも。繰り返しになるけど、ボール・デッドになれば笛が鳴るくらいの時間だよ？

そんな『怒髪、天……』な状態で振り返ったら、古馴染みと目が合った。その瞬間、思ったね。「あ、今のオレ、きっと、こんな顔してる！」って。それで、少し、ほんのちょっとだけ救われたような気がして、一呼吸して横を向いたら、今度はここ最近、すぐ近くで応援してる若いサポと目が合った。前述の古馴染みとは、また別の古馴染みの息子さんでもある彼は、いつも、どんな時でも、諦めることなく声を上げていた。周りに「もっと声を出そう！」と鼓舞し続けていた。時には「声を出しやいいってもんじゃないだろ！」と反論されることもあった。それでも、弛むことなく選手に声を届ける姿をずっと見てきた。そんな彼と目が合って、思わず「やったね！」と声をかけてハイタッチ。つい、今しがたの苦い気持ちは何処へやら。そして、ハイタッチの流れから、そのままハグ。と、その途端、彼が大声で泣き出した。ああ、わかる。よくわかるよ。滝のような涙に、濡れてゆくボクのレプユニの右肩辺り。ただ、「よかったな！よくやったよ。やってくれたよね？よかったね！」と繰り返し、彼の背中をトントンとしていて、いつしかボクの目頭が熱くなったとしても、それは仕方がないことだろう？

それにしても、この試合はやってるサッカーが『大木サッカー』じゃなかった。それは数字が物語っている。どっちがウチで、どっちが岡山か？あんなにロング・キックで前線へフィードするビクトルなんて見たことない。先制されたら終わりかも？そんな展開の流れを変えたのがナンちゃん。最終ラインをかき回し、同点ゴールは彼のお手本のような潰れ役のおかげ。もちろん、決め切ったパウロもエライ。そして、決してスマートではないが、魂のこもったグラウンダーのクロスを入れた三島も素晴らしい。三島に繋げたコーヤのカラダを張ったディフェンスも忘れちゃいけない。同点になって、さらに盛り上がる長良川劇場。とにかく、今日は珍しく交代が実に効果的だった。そんな中、ついに訪れた歓喜を演出したのは18番。ルーキー・イヤーのキャンプ初日に悪夢の負傷。そんな彼に、キックオフ・パーティーで「アウェイ・ユニを18番にしました。参戦する試合で掲げます！」と勝手に約束して、それを続けてきたボクにとっても待ち望んだ瞬間だった……。おめでとう、大地！本当におめでとう！兎にも角にも、おめでとう、だ！そんなキミに、もう一言。待たせ過ぎなんだよ！（爆笑）。今季、あと5点取らねえと許さないからな！しかし、アベちゃんダイレクト・クロスといい、航汰の折り返しヘッドといい、ゴールに至るまでの何もかもがよかった。ホントによかった。なんで、こんなに素晴らしい逆転劇なのに、ああ、なんで締めくくりが……。いや、これ以上は言うまい。今はとにかく、結果が大事。この勝ち点3はデカイ。降格圏内の2つと差を広げることができたのは上々。だが、しかし。まだ、何も決まってない。降格圏内の2つにも、まだホームの試合がある。それが、どれほどの力を与えるか。そのことは、一昨年に長良川でのラスト3試合を3連勝して残留を勝ち取ったボくらが一番よく知っている。だから、こちらも勝つしかない。勝ちさえすればいい。そのために、次節のアウェイにも駆けつける。アルウィンでの万歳四唱と勝利の賛歌が楽しみだ！（ぐん、）

【第38節】松本 0-0 岐阜

●岡山戦で“大木サッカー”を封印して14試合ぶりの勝利。では松本戦は？戻すのか、続けるのか？そしてスタメンに#34北谷？と試合開始前には、僕の頭にはハテナが並んでい

ただのけれど、試合が始まったらその疑問は解消された。フィジカルの強い#9高崎に#3竹田、スピードのある#7前田に#34北谷を当てる守備。そして岡山戦よりも、“普段着”サッカーに慣れてきた岐阜の選手たち。とはいえ、試合開始直後に#7前田が#25ビクトルと1対1になった時は正直ヤバイと思いました(苦笑)。そして、暫定とはいえ首位・松本の攻撃は、やはり岡山よりも迫力があって何度もヒヤヒヤさせられるシーンが続く。前半だけでシュート10本、CK8本ってば(苦笑)。でも、そんな状況でも失点を許さない岐阜の選手たちの集中力は素晴らしかった。となると、後半の焦点は、岐阜の選手たちの集中力と体力が最後まで保つのか、そして、数少ない得点チャンスを岐阜がモノにできるかどうか。実際、#6三島がフリーでミドルシュートを撃つ体制に入った時は「きたあつ！」って思ったんですけどね。利き足じゃなかったから上にフカしちゃって、僕は膝から崩れ落ちました(溜息)。もっともアレ決めてくれてたら、僕たちは傾斜の強いアルウィンのスタンドでナダレをおこして怪我するところでした(苦笑)。それでも、14,709人(うち約700人が岐阜サポらしい)のアルウィンに黙らせたかったなあ……。

試合全体としては、松本の攻撃に耐える時間が多かった岐阜。その中で、#25ビクトルが大当たり。正に“守護神”。何点とめてくれたんだろう？そして#34北谷の活躍も光った。シュートを21本、CKを12本撃たれて、それでも無失点に抑えたことは、今後のチームの自信になると僕は信じている。行きに比べて、帰りはアルウィンからの大渋滞&中央道の工事渋滞で3時間近く余分にかかってしまったのには閉口したけれど、それでも貴重な勝ち点1を持ち帰ることができた。この勝ち点は、きっと大きな勝ち点になることだろう。そして、今節は勝利を！ホーム連勝を！(ささたく)

●紅葉の時に、季節外れの緑一色に染まったスタジアム。その緑が燃え上がるような攻防の果てに手にした勝ち点1。惜しいチャンスはあったけれど、妥当な結果というべきかな？とにかく、先制されなかったこと。コレに尽きる。開始1分も経たないうちのヘディング・シュートを筆頭に、前半は何度ピンチに立たされたことか。15分までは、それこそ2分に一本くらいの割合でCKを取られていたような気さえする。あまりの多さにビクトルも集中が切れたのか、なんでもないボールをキャッチしないでバウンドさせてしまい、あわや失点！という場面もあった。それでも、それ以外は終了まで全員が集中し、決定的な場面でも複数の選手が身体を投げ出してブロック。監督が試合前に語っていたように、この試合のカギは「先に失点しないこと」。先制されたら、追いつき追いつくために前がかりにならざるを得ない。今のウチの状況では、かなり厳しい展開だ。カウンターは松本の十八番でもある。それを十分に理解した上での松本の攻撃。前半のうちに勝負を決めようというつもりで、嵩にかかって攻めて来た。そんな気がする。そして、それをどうにかこうにか耐え凌いだこと。ソレが価値ある勝ち点1に繋がった。

願わくば、チャンスを決めきりたかった。利き足じゃなかったとはいえ、グラウンダーでもいいからきちんとコースを突いた方がよかつたんじゃないかな？三島くん。もっと、シュート練習しような(笑)。ライザも疲れていたのか、あと一歩くらい身体の入れ方が足りなかった。そして、あのサイン・プレー。卒に飛んでればなあ……。がんばれ、パウロ。あと、忘れちゃいけないのが北谷。そうか。こういう試合なら、あれだけ出来るんだな。惚れ直したよ。とにかく、最後まで闘い抜いた。よく頑張った。しかし、まだ何も決まっただけはない。それでも、勝てばいい。次節の長良川で万歳四唱と勝利の賛歌を。(ぐん、)

【ユース】Jユース杯、初勝利！

●我がFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は今年もJユースカップに参戦しました。初戦は10月13日(土)

に長良川競技メドウにて開催されました。対戦相手は鹿児島ユナイテッドFCU-18。現在鹿児島県の2部リーグに参戦しているチームです。試合はFC岐阜ユースのペースで進んでいたのですが、なかなかゴールネットを揺らすことは出来ませんでした。そんな中、相手に与えたFKを決められて前半を0対1で折り返します。後半早々に同点に追いついたFC岐阜ユースは攻撃の手を緩めることなく攻め続け、後半41分に遂に逆転！そのまま試合終了。Jユースカップに参戦して10年目にして初勝利を迎えることが出来ました(大泣)。続く2回戦は名古屋グランパスU-18(以下名古屋ユース)との対戦でした。実は2009年にJユースカップに初参戦したときに名古屋ユースと対戦しています。この時には予選リーグをH&Aで2試合対戦したのですが、0対15と0対11で完敗。1点すら取れなかったんですよ。試合後に今西社長からの言葉を選手たちが涙流しながら聴いていたのが非常に印象に残っています。そして今年の対戦は既にクラブユース選手権で一度対戦していますが、この時も0対9で敗戦。ユース世代のトップリーグの一つであるプレミアリーグWestで現在4位というチームの壁はとてとても高いのです。そして迎えた今回の対戦。10月20日(土)に豊田市のトヨタスポーツセンターにて行われました。試合のペースは当然のように名古屋ユースに握られていたのですが、時間帯によってはFC岐阜ユースの攻勢の時間帯もあったそうです。それでも前半に1点、後半に1点を入れられ、得点をすることも出来ずに0対2で敗戦となりました。残念無念。でも2009年の事や今年春のクラブ選手権の時の事を考えると今シーズンのリーグ戦で中々結果が出ない中でも着実に成長できていたんじゃないだろうか？と思えました。

これで今年の全国大会は終了しました。残りはプリンスリーグでの3試合を残すのみとなりました。11月24日に第16節藤枝明誠高校戦、12月1日に第17節清水桜が丘高校戦、12月8日に第18節浜松開誠館高校戦が予定されています。自力でのプリンスリーグ残留出来る8位確保は非常に厳しい状況になっていますが、東海からのプレミアリーグへの昇格数&プレミアリーグからの降格数次第ではまだまだ確定はしていません。その為にも9位の死守をしていきましょう！頑張れよ、応援しているからな！！FORZA！FC岐阜ユース！！

※試合会場・時間は変更される場合が有ります。必ずJFAやチームの公式サイトで確認して下さい。(シュナ)

10/26 時点の J 2 残留闘争。

	19位 / 京都	20位 / 岐阜	21位 / 讃岐	22位 / 熊本
39節	A大宮	H千葉	A甲府	H岡山
※35節			H町田	
40節	H愛媛	H山形	H栃木	A新潟
41節	H千葉	A水戸	A東京V	A福岡
42節	A讃岐	H福岡	H京都	H愛媛

10/26 時点の J 3 順位表。

1 琉球	59p +31	59 28	残り 5	★J2 昇格権利あり
2 鹿児島	48p +9	40 31	残り 5	★J2 昇格権利あり
3 群馬	47p +4	29 25	残り 5	★J2 昇格権利あり
4 沼津	44p +10	34 24	残り 6	
5 G阪U	40p +12	44 32	残り 6	
6 鳥取	39p +10	48 38	残り 6	★J2 昇格権利あり

沼津が失速し、上位2チームが昇格権利持ち(すなわち、J2から2チーム降格)となる可能性が高くなりました。『岐大通』ではFC岐阜のJ2残留が決まるまで、J3情報を掲載していきます。(編集人：吉田鑄造)

